

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	一般小売店 〔酒〕（店長）	お客様の様子	・ワクチン接種により新型コロナウイルス新規感染者が少なくなっているため、今月より緊急事態宣言解除の方向で動いていて、今後來客数や売上など期待できる。
	○	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・緊急事態宣言下ではあるが、感染防止対策を施した上で物産展を開催し、自粛疲れもあったのか、多くの客に期待されにぎわった。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は3か月前とほぼ変わらないが客単価が上がっていて、売上もやや良くなっている。
	○	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・新車の受注は好調で前年を上回っている。プレミアムブランドも新型車を中心に受注が伸びている。
	○	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・10月以降の問合せ予約は少しずつ増えているが、政府の方針次第ではすぐにゼロへ戻る。
	□	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・店舗改装や緊急事態宣言中ということもあり、来客数は、それほど変わらない状況である。
	□	コンビニ（副店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種は確かに進んできているものの緊急事態宣言が延長に続く延長である。9月の大型連休の来客数は伸びきらなかった。
	□	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言が継続しているなか、本業を休業しており、デリバリーなどもやっているが、手数料が大きく打開策にはなっていない。
	□	住宅販売会社（役員）	お客様の様子	・賃貸、売買共に物件問合せは一定数あるが、物件内覧については盛り上がり欠ける。
	▲	スーパー（販売企画）	来客数の動き	・客単価は3か月前と同じであるが、新型コロナウイルスの感染拡大第5波の影響で来客数が悪い。
	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売数が前年比で85%と落ち込んでいる。来客数も同様に減っていて、長く続いている緊急事態宣言の影響が大きい。
	▲	住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・大型建築案件が少なく、建築請負金額が減少傾向にある。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・現在、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言も発出されており、飲食店、その他の業種も全部大変な事態となっている。新型コロナウイルスの感染が収束しない限りは景気は大変厳しく、来客数も減っている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・9月は緊急事態宣言の延長を受け、これまで以上に悪い月となっている。外出を規制されても飲食店のような支援金や協力金などはなく、周辺の同業者や他業種も大変な思いをしているとみている。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・9月は緊急事態宣言の延長により、一般の宿泊者数がピークの10分の1、修学旅行がほぼ0件になっている。夕食、宴会も0件である。
	×	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの6月の販売室数が前年比24%減少なのに対し、9月の販売室数は緊急事態宣言の影響があって前年比55%減少で、マイナス幅が大きくなっている。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少が続くなか、緊急事態宣言下ではあるものの、学校給食関連のような一部を除き売上は増加している。
	○	輸送業（経営企画室）	受注量や販売量の動き	・ホテル関係や4か月ぶりに空港関係への納品が再開している。外食関係の酒類の発注も徐々に増えてきており、緊急事態宣言解除に向けた各納品先の動きが活発化している。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・前月と比較して公共、民間工事共に見積依頼、出荷に大きな変化はない。
	□	会計事務所（所長）	取引先の様子	・衆議院選挙もあり、政治動向が様子見されるとみられる。
	▲	*	*	*
×	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・契約、販売が全く動かず、止まったままである。	
雇用	◎	－	－	－

関連 (沖縄)	○	求人情報誌製作 会社（営業）	求人数の動き	・過去直近3か月はほぼ横ばい状態で推移していたが、今月は3か月前と比較すると求人数は20%増加、前月比だと15%増加している。緊急事態宣言解除後を想定した採用活動再開の兆しがみえてきている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・就職数が、6月から8月までは前年同月を下回っていたが、9月は4か月ぶりに前年同月を上回る予定である。
	□	人材派遣会社 （経営者）	求職者数の動き	・派遣の依頼は確実に増加しているものの、求職者数が少ない。また新型コロナウイルス感染により休職中のスタッフも多数いて、売上の数字に影響を及ぼしている。
	□	人材派遣会社 （総務担当）	求職者数の動き	・緊急事態宣言のため求職者数の動きが鈍く、なかなかマッチングにつなげられない。
	□	学校〔大学〕 （就職支援担当）	求人数の動き	・企業の求人数の動きが鈍くなってきている。
	□	学校〔専門学校〕 （就職担当）	求人数の動き	・IT系求人数については良い状況が継続しているが、ゲーム、デザイン系求人数は厳しい状況が続いている。3か月前と比較してもその状況に変化は余りみられない。
	▲	—	—	—
×	—	—	—	